

令和 8 年度

# 事業計画

令和 8 年度収支予算

公益財団法人 九州生産性本部

## 「生産性の精神」

生産性とは、何よりも精神の状態であり、現存するものの進歩、あるいは不断の改善をめざす精神状態である。

それは、今日は昨日よりもより良くなし得るという確信であり、さらに、明日は今日に優るという確信である。

それは、現状がいかに優れたものと思われ、事実また優れていようとも、かかる現状に対する改善の意思である。

それはまた、条件の変化に経済社会生活を不断に適応させていくことであり、新しい技術と新しい方法を応用せんとする不断の努力であり、人間の進歩に対する信念である。

(ヨーロッパ生産性本部ローマ会議報告書より 1959年3月)

## 「生産性運動の三原則」

### 雇用の維持・拡大

生産性の向上は、究極において雇用に拡大するものであるが、過渡的な過剰人員に対しては、国民経済的な観点に立って能う限り配置転換その他により、失業を防止するよう官民協力して適切な措置を講ずるものとする。

### 労使の協力と協議

生産性向上のための具体的な方式については、各企業の実情に即し、労使が協力してこれを研究し、協議するものとする。

### 成果の公正な分配

生産性向上の諸成果は、経営者、労働者および消費者に、国民経済の実情に応じて公正に分配されるものとする。

(関係九省事務次官と本部役員との了解事項 1955年5月)

## 「我々がめざす生産性とは」

◇生産性は、基本的には  $\frac{\text{産出}}{\text{投入}}$  です。

◇重要な指標である労働生産性の場合、一般に分母に労働投入量、分子に付加価値を用います。

$$\text{労働生産性} = \frac{\text{付加価値}}{\text{労働投入}}$$

◇労働生産性向上のためには、分母である資源投入量等の削減やコストダウンの取組みは重要ですが、これからは分子である付加価値増大を軸にした取組みをより強化しなければなりません。

◇なお、付加価値は、売上高から外部購入価値を除いたもので当然人件費も含まれます。

◇付加価値における賃金・福利厚生費等の人件費の割合が労働分配率と言われるものです。また、付加価値の合計が国内総生産（GDP）となります。

## 目 次

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| <b>令和8年度の事業方針</b> .....             | 1   |
| <b>事業の概要</b> .....                  | 3   |
| <b>事業名及び時期</b> .....                | 1 5 |
| <b>I 社会関係事業</b> 〔公益目的事業1〕 .....     | 1 5 |
| 1. 社会問題事業 .....                     | 1 5 |
| 2. 労使問題事業 .....                     | 1 5 |
| 3. 労働問題事業 .....                     | 1 5 |
| <b>II 生産性大学事業</b> 〔公益目的事業2－1〕 ..... | 1 5 |
| 1. 第68期九州生産性大学経営講座 .....            | 1 5 |
| <b>III 国際交流事業</b> 〔公益目的事業2－2〕 ..... | 1 5 |
| 1. 海外視察研修団派遣 .....                  | 1 5 |
| <b>IV 経営教育事業</b> 〔公益目的事業3〕 .....    | 1 6 |
| 1. 課題別教育 .....                      | 1 6 |
| ① 経営トップ・経営企画分野 .....                | 1 6 |
| ② 人事・労務分野 .....                     | 1 6 |
| ③ 財務・経理・監査分野 .....                  | 1 6 |
| ④ 総務・法務分野 .....                     | 1 7 |
| ⑤ 教育・広報分野 .....                     | 1 7 |
| ⑥ 営業・マーケティング分野 .....                | 1 7 |
| ⑦ 生産・物流分野 .....                     | 1 7 |
| ⑧ I E研究事業 .....                     | 1 7 |

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 2. 階層別教育                    | 18 |
| ① 管理者・監督者・リーダー              | 18 |
| ② 中堅社員・若手社員                 | 18 |
| ③ ビジネススキル                   | 18 |
| <b>V</b> 研究調査事業〔公益目的事業4-1〕  | 19 |
| 人事部門が抱える経営課題調査              |    |
| 経営課題・人材開発等オンラインアンケート調査      |    |
| <b>VI</b> 組織活動事業〔公益目的事業4-2〕 | 19 |
| 1. 組織活動（賛助会員の安定・拡大）         | 19 |
| 2. 広報活動                     | 19 |
| ① 生産性新聞                     | 19 |
| ② 実態課題調査報告書                 | 19 |
| ③ 九州生産性資料（活用労働統計 他）         | 19 |
| ④ Webを活用した情報発信・広報活動         | 19 |
| 3. 創立70周年記念事業               | 19 |
| 4. 交流活動                     | 19 |
| ① 九州見聞フォーラム                 | 19 |
| ② ビジネス・トレンドフォーラム            | 19 |
| ③ 地域セミナー                    | 19 |
| ④ 会員向けセミナー「対話ワークショップ」       | 19 |
| <b>VII</b> 企業内教育事業〔収益事業〕    | 19 |
| 1. 企業内研修への講師派遣              | 19 |
| 2. 経営コンサルティング               | 19 |
| 3. 講演会への講師派遣                | 19 |
| 令和8年度収支予算                   | 20 |
| 【別表G】収支予算の事業別区分経理の内訳表       | 21 |

## 【1】令和8年度の事業方針

わが国経済は個人消費の力強さを欠くものの、訪日外国人客数増加に伴うインバウンド需要の拡大に加え、企業の設備投資も堅調に推移しており、先行きに不透明感を残しつつも、景気は底堅く推移している。九州地域においては、熊本 of T S M C をはじめとする半導体関連産業の集積・拡大や、これに伴う関連産業群の活性化を背景に、引き続き高い成長への期待が寄せられている。福岡では「天神ビッグバン」「博多コネクティッド」などの再開発が後半戦を迎え、福岡市が推し進める I T 企業やスタートアップの集積も進行中である。また、長崎・鹿児島などにおいても観光需要が着実に回復し、交通インフラの整備や地域ブランド強化が進むなど、地域経済は大きな変化の局面にある。これらの動きは単なる景気回復にとどまらず、産業構造転換を促す重要な機会であり、九州は国内外から注目される成長地域へと変貌しつつある。

一方で、地政学的リスクや国際情勢の不安定さ、少子高齢化の進行による人口減少問題は依然として深刻である。また、生成 A I をはじめとするデジタル技術の進展への対応など、企業を取り巻く経営課題は一層複雑化・高度化している。こうした状況のもと、持続可能な経済成長と賃上げを両立させるためには、生産性向上を中核に据えた構造改革の継続的な推進が不可欠である。

直近の労働生産性の国際比較（日本生産性本部）によれば、日本の時間当たり労働生産性は O E C D 加盟国の中で依然として低位にとどまっており、我が国経済は引き続き、生産性向上を通じた成長力強化が強く求められている。付加価値を着実に高めていくためには、生産性改革を推進し、労使が協力して成長と分配の好循環を構築することが重要である。

企業においては、新規事業の創出や新市場の開拓、A I ・デジタル技術への戦略的投資を進めるとともに、研究開発への積極的な取り組みや、女性・高齢者・外国人労働者を含む多様な人材の活躍促進を通じて、持続的なイノベーションを生み出していくことが引き続き求められている。

こうした環境下において、本年度創立 7 0 周年を迎える九州生産性本部は、生産性運動の原点である「人間尊重」を基本理念とし、経営イノベーションと人材

開発支援を両輪として、九州産業界の生産性向上と持続的発展に資する以下の事業に取り組んでいきたい。

第68期を迎える九州生産性大学では、「イノベーションに挑戦し、未来を拓くリーダーの養成」を基本方針に、全12コース15教室編成により、4月開講・12月修了の9か月間にわたる長期研修を実施する。

経営教育事業においては、多様な経営セミナー・研究会を通じて、「経営力・革新力・現場力など組織能力の強化」と「価値ある人材の育成支援」に取り組む。労使問題・労働問題事業では、「労使の信頼と協力関係の構築及び個が活かされる環境づくり」を重視し、企業内教育においては、「個別企業のニーズに応じた経営支援と人材育成支援」を目的として、各事業に取り組んでいきたい。

西日本地区5つの生産性本部の共催により開催し54回を迎える「西日本生産性会議」は、引き続き労使共通の重要課題についてマクロ・ミクロの両面から議論を深め、変化の激しい時代に対応した新たな生産性運動の展開につなげていきたい。

これらの事業活動においては、「雇用の維持・拡大」「労使の協力と協議」「成果の公正な分配」を掲げる生産性運動三原則を基盤とし、労・使・学の三者構成という特長を生かしながら、「生産性は進歩の精神であり、現にあるものの絶えざる改良の精神である」という理念のもと、事業を推進していきたい。

また、日本生産性本部をはじめとする全国生産性本部のネットワークや、全国労組生産性会議、サービス産業生産性協議会、日本インダストリアル・エンジニアリング（IE）協会等の関係団体と緊密に連携し、生産性向上に関する九州No.1のナレッジ（知識・情報・経験）交流・発信拠点としての機能を一層強化することで、九州地域経済の発展に貢献する公益財団としての役割と責任を果たしていきたい。

## 【2】事業の概要

上記の方針にそって、主に下記の事業を新規、および継続実施する。

### I. 社会関係事業 [公益目的事業1]

#### 1. 社会問題事業

- (1) 2026年度西日本生産性会議（神戸市）
- (2) 九州労使フォーラム
- (3) 顧客価値経営報告会

#### 2. 労使問題事業

- (1) 労使会議フォーラム
- (2) 視察・見学会
- (3) 各地区労使会議交流会

#### 3. 労働問題事業

- (1) 九労生総会・講演会・会員交流会
- (2) 九労生フォーラム
- (3) 労組幹部朝食懇談会（ユニオン・モーニング）
- (4) 九労生アジア視察
- (5) 労組幹部のための労働法セミナー
- (6) 労使交渉・協議に役立つ賃金対策のポイント
- (7) 全国労組生産性中央討論集会（東京）

### II. 生産性大学事業 [公益目的事業2-1]

#### 1. 基本事項

昭和32年九州産業界の代表的経営者で編成された“第1次九州トップマネジメント訪米視察団”の帰国後の提唱により昭和34年に創設。以来、九州ナンバー1の歴史と実績を誇るマネジメントスクールとして、本年度で創設68年目を迎えることとなった。今後とも九州産業人の経営力開発機関、基幹人材養成機関としての役割を果たしていきたい。

## 2. 企画・内容

- (1) 九州産業界のトップで構成する理事会、及び実務家で構成する運営委員会のご協力をいただきながら、産業界のニーズに合致した体系的カリキュラムを編成し、講義・事例研究・演習・ケーススタディなどを有機的に組み合わせ、効果的な講座運営に当たりたい。
- (2) 今期は全12コース15教室で実施する。受講者が多いマネジメント能力開発コースは3教室、主任・係長育成コースは2教室にて参加者を募集する。
- (3) 開講課程はオンライン（収録）配信で行う。コース別研修は5月から11月までの7単元で開催する。
- (4) 開講後の全コース共通の動画研修として、ビジネス実務での導入が加速している生成AIの活用法を、全参加者を対象にアーカイブ配信する。
- (5) 講師陣は、第一線で活躍中の大学教授、経営コンサルタント、弁護士、会計士をはじめ各界の専門家を招聘するとともに、受講者によるアンケート評価を参考に、常に高い受講者満足を提供できる質の高い講師陣を編成したい。
- (6) 受講内容の整理・把握と知識の定着のため、また自社の課題解決や自身の自己革新へ繋げていただくため、修了レポートの提出を義務付けるとともに、コース毎に最優秀賞、優秀賞を選出し修了式にて表彰を行う。コース別修了レポート集は電子化して参加者と派遣企業で共有する。
- (7) フェイスブックの活用により受講者同士の相互啓発及び異業種交流の輪を広げるとともに、12月修了課程において修了記念パーティを開催する。

## 3. コース編成

- (1) トップを囲む懇談会  
～未来を生き抜くイノベーション経営実現のために～
- (2) 経営戦略コース  
～戦略的思考により、革新と成長を支える「経営幹部」の養成～
- (3) マネジメント能力開発コース（A教室、B教室、C教室）  
～変革期の企業革新を担う「管理者」の養成～

- (4) 主任・係長育成コース（A教室、B教室）  
～職場の第一線で活躍するリーダーの育成～
- (5) 人事戦略コース  
～組織の持続的成長を実現する人事戦略と実践～
- (6) 経営財務コース  
～基礎から体系的に学び、経営を支える財務センスを磨く～
- (7) コストダウン実践コース  
～改善の標準化による徹底したコストダウンとモノづくり競争力強化～
- (8) マーケティング戦略コース  
～リアルとデジタルを融合した革新的な集客・ブランドづくり～
- (9) ビジネス法務コース  
～ビジネスに必要な法律知識の修得と実務対応を学ぶ～
- (10) キャリアデザインコース【女性対象コース】  
～自分の可能性の枠を拡げ、リーダーとしての「意識・行動」変革につなげる～
- (11) U-29未来キャリアコース  
～20代で身につけておきたいビジネス思考、高い視座&スキル～
- (12) データドリブン基本コース【オンライン&通学】  
～データ分析の基本の「き」を学び、意思決定の精度を高める～

### Ⅲ. 国際交流事業 [公益目的事業2-2]

#### 1. 海外視察研修団派遣

##### (1) 九州生産性ヨーロッパ視察研修団

欧州諸国の機関・企業訪問や現地セミナーを通じて、欧州の経済の実態や企業の先進的取り組みについて研究を深める研修団として派遣したい。

##### (2) 日本生産性本部グローバル事業への参加勧誘

#### IV. 経営教育事業 [公益目的事業3]

激しい経営環境の変化に柔軟に対応できるよう、経営機能別に最新かつ有用な情報を提供する経営課題別教育、並びに新入社員から上級管理者までの各階層に求められる基礎能力、知識・スキルの習得、問題解決力の向上を目指した各種階層別教育を開催する。

本年度は、新規14本を含めて、課題別教育60種類・61本、階層別教育に41種類・55本、合計116本の実施を計画している。学びや働き方の多様化に合わせて、開催方式は通学研修の他、通学とWEBを併用するハイブリッド型セミナーも実施することにより、企業の多様な人材育成ニーズに応えたい。

##### 1. 課題別教育

[経営トップ・経営企画分野]

- (1) 九州企業の経営トップを囲む朝食懇談会
- (2) 取締役・執行役員研修（日本生産性本部との共催）

[人事・労務分野]

- (3) 労働法実務講座【ハイブリッド】
- (4) 社員とのトラブルに対する法的対応策セミナー
- (5) 人事担当者の役割と基本知識
- (6) 人事戦略基礎セミナー
- (7) 総額人件費管理と要員配置の実務ポイント
- (8) 〈春闘に向けた〉自社賃金水準検証と人件費分析セミナー
- (9) メンタル不調社員への初期対応と休職・復職の実務対応【ハイブリッド】
- (10) 70歳就労時代に向けた定年延長・再雇用制度の見直し
- (11) 若手社員の早期離職防止・定着のノウハウ
- (12) 大手に負けない！新卒採用の効果的なすすめ方

- (13) 「悩ましい社員」への対応の仕方とポイント
- (14) メンバーシップ型からジョブ型人事マネジメントへの転換 **(新規)**  
企業競争力の源泉となる社員のモチベーションと評価、報酬制度の関係等の解説と、ジョブ型の人事マネジメントへの転換のポイントを解説する。

[財務・経理・監査分野]

- (15) 九州監査業務研究会【ハイブリッド】
- (16) <九州>内部監査実務研究会
- (17) 事例で学ぶ内部監査の実務入門【ハイブリッド】
- (18) 経理部長クラブ
- (19) 決算書がスラスラわかる「財務3表一体理解法」【ハイブリッド】
- (20) 役員・幹部のための1日で学ぶ決算書の読み方・活かし方
- (21) 会計・決算書類の「おかしい数字」の見抜き方【ハイブリッド】
- (22) 実践！簿記・会計基礎実務
- (23) 経理・会計に必要な税務の基本と実務ポイント
- (24) 固定資産をめぐる会計と税務の基本実務
- (25) 管理会計の基礎と実践
- (26) 経理リーダーに必須の4つの力
- (27) 原価の仕組みとコストダウンの実践法
- (28) 設備投資意思決定の基礎と実践
- (29) 不正経理100事例に学ぶ会計不正リスク対応 **(新規)**  
会計不正発見・予防法について、発生しやすい不正パターン、共通的に発生する手口、決算書に現れる危険な兆候を類型化し分析する手法を具体的に解説する。
- (30) 日次業務から決算作業まで経理の年間業務総点検 **(新規)**  
日次・月次の経理の定例業務から年次決算作業の流れや留意点までを、実務で誤りやすい税務・会計処理を取り上げながら、演習を交えて解説する。

[総務・法務分野]

- (31) 九州企業法務研究会
- (32) 新任役員及び役員スタッフのための法律知識セミナー
- (33) 会社法実務セミナー
- (34) 総務担当者のための法律知識セミナー
- (35) トラブルを未然に防ぐ契約書の作り方・読み方のポイント【ハイブリッド】
- (36) 相談窓口担当者のためのハラスメント対応力強化セミナー
- (37) 人事・労務・福利厚生 of 税務知識セミナー
- (38) 労働・社会保険の必須知識と実務ポイント
- (39) 基本から学ぶ給与計算の実務
- (40) 事例で学ぶ社会保険・給与計算業務のミス防止策
- (41) 1日でマスターする年末調整の基礎実務
- (42) 生成A I の活用と法的リスク・社内ルールの整備
- (43) 産休・育休制度の基本と規程整備・社会保険に関する実務ポイント
- (44) 最新の脅威と対策を学ぶ！情報セキュリティ入門講座（新規）  
情報セキュリティの基本から、最新のサイバー攻撃の手口や実際の被害事例、企業が取るべき実践的な対策まで具体的に解説する。

[教育・広報分野]

- (45) 人材開発研究会
- (46) 離職を防ぎ新入社員の成長と定着を促す！O J T 指導力強化セミナー
- (47) 広報担当者の基本の「き」
- (48) 早期に活躍できる人材を育てるための新社員研修のつくり方・進め方
- (49) 新人・若手育成アドバイザー（チューター）研修（新規）  
新人育成担当になった若手社員が指導に悩み疲弊しないよう、新人育成の基本スキルと自分を守りながら上手に教えるコツの両方を体系的に解説する。

[営業・マーケティング分野]

- (50) 新任営業担当者セミナー
- (51) 3ステップで実践する営業力ブラッシュアップセミナー
- (52) 営業で生きる！提案が通る！「声の出し方、話し方」セミナー
- (53) 営業担当者のためのお客様の懐に入るコミュニケーション術
- (54) 予測精度を高める！Pythonを使った時系列分析入門【ハイブリッド】(新規)  
Python を使い売上やアクセス数など将来の予測精度を高める時系列分析の基本を、初心者にも安心なコードのコピペ方式で分かりやすく解説する。

[生産・物流分野]

- (55) 第一線現場長セミナー [年2回]
- (56) 在庫管理の実務と最適化の着眼点
- (57) ヒューマンエラー防止対策セミナー
- (58) 「本物の5S」と「見える化」による現場改革・改善の実践展開法
- (59) 工場管理者・現場リーダーのためのマネジメント力向上セミナー
- (60) 「デジタル×現場力」で実現する成果の出る現場づくり (新規)  
デジタル化が進む中無料で使える業務改善ツールやAI、RPAを製造現場で業務の効率化にどう活かすか実践的に解説する。

[IE研究事業]

- (1) 全国IE年次大会 (福岡市)
- (2) 九州IE年次大会
- (3) IE基本講座他、関連セミナー
- (4) 工場見学研修会
- (5) モノづくり講演会
- (6) 機関誌 (IEレビュー) 発行

## 2. 階層別教育

[管理者・監督者・リーダー]

- (1) 上級管理者セミナー
- (2) 管理者基礎セミナー [年4回]
- (3) 主任・係長基礎講座 [年6回]
- (4) リーダー能力開発講座 [年4回]
- (5) リーダーシップ強化セミナー
- (6) チームリーダーのためのコーチング技術習得研修
- (7) パワハラと誤解されない部下育成・部下指導のポイント
- (8) コーチングスキルを活用した1 on 1 ミーティング基本セミナー
- (9) 部下の次のやる気に繋がるほめ方・叱り方セミナー
- (10) プロジェクトマネジメント基本セミナー **(新規)**  
リーダーとしてプロジェクトをうまく進めるために有効なフレームと、明日から使える具体的手法について解説する。
- (11) マネジメントトレーニングセミナー (5日間コース) **【オンライン】(新規)**  
体系的なマネジメント研修を5日間オンラインで開催し、部下育成と組織成果を最大化するための実践スキルを他社メンバーと双方向で習得する。

[中堅社員・若手社員]

- (12) フレッシュマンセミナー [年2回]
- (13) 新入社員フォローアップセミナー
- (14) 2年目社員独り立ち講座
- (15) 若き社員自己活性化セミナー [年3回]
- (16) 自分で自分を動機づける！セルフリーダーシップセミナー
- (17) 若手社員のための「対人関係力」強化セミナー
- (18) 女性リーダー養成講座

- (19) 頭と心で学ぶ「思いやリーダーシップ」セミナー
- (20) 後輩指導力アップセミナー
- (21) 上司を支援・補佐する「部下力」を高める3つの力向上セミナー **(新規)**  
上司との連携・支援を見直しつつ独自のフォロワーシップを明確にし、セルフマネジメント力・交渉力・さばき力の3つの力を演習で実践的に習得する。
- (22) 中堅社員のための壁を乗り越えるキャリアデザイン **(新規)**  
中堅社員が抱える不安や将来の迷いを整理し、持ち味カードを用いて自分の強みを可視化することで、主体的にキャリアと行動計画を描く力を習得する。

[ビジネススキル]

- (23) 基礎から学ぶ Excel V B A ・ マクロ入門 **【ハイブリッド】**
- (24) 実践！相手の心をつかむ話し方とプレゼンテーション
- (25) 働き方を変えるタイムマネジメントセミナー
- (26) Word ・ Excel ・ PowerPoint を活用した事務効率化 ・ 時短術 **【ハイブリッド】**
- (27) 心理的安全性の高いチームづくりの進め方
- (28) 報 ・ 連 ・ 相スキルアップセミナー
- (29) 「紙1枚」で思考を整理し、伝える技術
- (30) 秘書業務セミナー
- (31) 仕事の生産性を高めるための「段取り力」強化セミナー
- (32) 「3つの思考力」で高める「問題発見・解決力」
- (33) 的確に意図を伝える！文章表現力向上セミナー
- (34) 巻き込み力強化セミナー
- (35) 気がきく力をアップデート！世代の違いに考慮したコミュニケーション術
- (36) 業務を見える化・標準化する事務マニュアル作成の進め方と活用の仕方
- (37) Power Automate Desktop 入門講座 **【ハイブリッド】**
- (38) 生成A I を活用したビジネスカブラッシュアップセミナー **【ハイブリッド】**

- (39) 2026年義務化！カスハラから現場を守るための顧客対応と組織ルールづくり **(新規)**  
2026年を目途に法律で義務化される企業のカスハラ対策について、法改正の内容から組織での対応策まで、ワークを交えながら具体的に解説する。
- (40) アサーティブコミュニケーションの極意 **(新規)**  
誤解や意図しない対立を防ぎ、相手の気持ちを尊重しながら自分の意見や主張を効果的に伝えるスキルについて解説する。
- (41) 生成A I 有料版×業務改善実践講座【ハイブリッド】 **(新規)**  
有料版の生成A I を活用した業務改善のための市場調査から、自社・他社の分析、企画報告書作成までを具体的に解説する。

## V. 研究調査事業 [公益目的事業4-1]

九州企業の人事部門が抱える経営課題調査を継続実施し、集計結果を公表するとともに、ホームページを通して会員をはじめ広く一般の参考に供する。

また、経営や人事関連のタイムリーなテーマについてWebアンケート調査を実施し、結果をホームページ上で公開して、広く一般の参考に供する。

## VI. 組織活動事業 [公益目的事業4-2]

### 1. 組織活動（賛助会員の安定・拡大）

賛助会員との日常の連絡に努めるとともに、会員サービス事業はじめ本部事業への会員の参加率の向上に努めて、会員の安定化と新規拡大に努力する。

### 2. 広報活動

- (1) 生産性新聞（月3回発行）
- (2) 人事部門の抱える課題と取組の実態調査報告書（電子版年1回）
- (3) 活用労働統計（年1回発刊）
- (4) Webを活用した情報発信・広報活動（随時）

### 3. 創立70周年記念事業

当本部の創立70周年を記念して、九州労使フォーラムを記念事業の一環として開催するとともに、会員企業、会員労組を招いて記念式典を開催する。

### 4. 交流活動

- (1) 九州見聞フォーラム（企業・施設見学会）
- (2) ビジネス・トレンドフォーラム（時代のトレンド問題についての情報提供）
- (3) 地域セミナー（鹿児島開催）

鹿児島地区の企業の人事・教育担当者を対象に、トレンドや課題の共有、生産性向上に役立つ情報収集、交流の場として開催する。

- (4) 会員向けセミナー「対話ワークショップ」

## VII. 企業内教育事業 [収益事業]

### 1. 企業内研修への講師派遣

企業内研修では、より実践的で成果のあるものにするために、企業ニーズに応じたオリジナルの研修プログラムを提案し、またオンラインにも対応するとともに最適な講師派遣を通して、企業の人材育成を支援する。

### 2. 経営コンサルティング

経営コンサルティングでは、明確な成果につなげるために、企業との徹底した事前のヒヤリングや現地診断を通じて現状の問題点の整理と根本的な課題を発見し、経営革新・生産性向上へのプログラム構築から、運用、フォローまで一貫して支援する。

### 3. 講演会への講師派遣

総会や記念大会等の各種会合時の講演会に対して、それぞれの組織のニーズに応じた講師の選定や派遣を行う。

## **VIII. その他**

生産性大学のWEB申込受付をはじめ事業事務システムの改善をさらに進めて、会員の利便性向上と事務作業の一層の効率化、DX化を図りたい。

また、公益認定法の改正を伴う公益法人制度改革、及び公益法人会計基準の見直しに対応するため、会計システムの改修等を進めたい。

以 上